



東彼杵町立彼杵小学校 学校だより

校訓：「強く 正しく 朗らかに」

学校教育目標：「ふるさとに愛着を持ち、心豊かにたくましく生きる彼杵っ子」

今年の合い言葉 「よく学び よく遊べ」

令和4年5月13日

NO. 8

校長 白水 聡

「不易と流行」

校内を回っていると、さまざまな「よいもの」を目にします。たとえば右の写真です。ある日の下足箱の様子ですが、どの子もかかとをきちんと揃えて並べています。はきものを揃えることのできる、落ち着いた態度が伝わってきます。ご家庭ではいかがでしょうか？

なかなか「いつでも」とはいかないでしょうが、できるだけ意識させたいものです。そのためにも、よくできていることは認め、できていないならばやり直させるといった、あたり前の指導が必要です。

「ほんの一秒のはきものそろえで、交通事故を防ぐことができる。」と聞いたこともあります。大切にしていきましょう！



左の写真はある日の6年生の国語の授業の様子です。

机の上には教科書とノートに加えて、タブレットパソコンが乗っています。この日は多くの子が、パソコンを片手にワークシートに文章「筆者の主張」を書いていました。

見ている画面に何が写っているのか？と思って覗いてみると、なんと！前の時間に学習した黒板の写真でした。

ノートに写してあるはずの板書を写真に撮って、この時間に活用しているというのです。まさに我々がしている、「写メしておきます」みたいなことを子どもたちもやっています。

担任の先生がちゃんとその様子を写真に撮っていました。右の写真です。子どもたちがタブレットで黒板の写真を撮っています。

担任の先生に聞くと、「子どもたちが残しておきたいと言ってきたんです。この日が初めてではないです。使い方にも慣れています。」とのこと。GIGAスクール構想による一人一台のタブレット配布によって、授業の様子に変化が見られています。



…我々はこれからの教育において、子供たち一人一人が、伸び伸びと自らの個性を存分に発揮しながら、こうした「時代を超えて変わらない価値のあるもの」をしっかりと身に付けていってほしいと考える。

しかし、また、教育は、同時に社会の変化に関心であってはならない。「時代の変化とともに変えていく必要があるもの」(流行)に柔軟に対応していくこともまた、教育に課せられた課題である。…(後略)

～過去の中教審答申より一部抜粋～

「はきものそろえ」も「タブレット」も身につけさせたい大切な力です。これからも、本校の「よいもの」を見つめ、クローズアップさせながら、子どもたちの生きる力を育んでいきたいと思えます。